

社会福祉研究

2 単位 3 年 (後期)

榎田 美雄・准教授 / 社会創生学科

【授業目的】社会学の立場から社会福祉学を講じる。現代社会は福祉社会である。20 世紀において社会福祉は、ケインズ主義の下、経済発展の動因であった。21 世紀では、社会福祉は、人間のデータベース的管理の基盤となろうとしている。テキストを用いながら、社会福祉の現代社会的基盤を論じよう。

【授業概要】社会学の立場から考える社会福祉の研究

【キーワード】福祉社会学, 社会政策, 援助, 共生, セルフヘルプグループ, インタビュー論, 社会福祉と現代社会

【履修上の注意】教科書は生協に取り寄せてあるので (定価 1700 円), そこから購入すること。また, 参考書の一部は高価だが読みがいがある。古本でよいかから買ってよむとよい。出欠確認は毎回行う。とりわけ, 初回のオリエンテーションは重要なので, 欠席しないようにせよ。欠席者には理由を問う。なお, 全学共通教育では「ボランティア論 (木曜 5-6 限前期)」が, 関連科目である。なお, 受講学性人数にもよるが, 複数回の小論文執筆が課せられることを覚悟してほしい。大学での学習成果は, 書いたレポートの数にほぼ比例すると思われるからだ。また, ダイソーでの買い物などの宿題も課せられる。日本のグローバル化の状況を身をもって看取してもらう必要があるからだ。

【到達目標】現代社会を学ぶことと, 社会福祉を学ぶことがどのようにつながっているのか講義する

【授業計画】

- 1.0. 榎田によるイントロダクション:現代社会論として福祉を考える。セルフヘルプグループ論。
- 2.1. 社会福祉とは
- 3.2. ウェルビーイングタウン社会福祉って何だろう
- 4.3. 福祉のしくみ
- 5.4. レポートを書いてみよう (消費社会化をテーマとして)
6. まとめ

【成績評価】出席+テストおよびレポート

【再試験】おこなわない

【教科書】

- ◇ 岩田正美ほか著 1999 『ウェルビーイングタウン社会福祉入門』有斐閣 (教科書)
- ◇ 参考書 『福祉社会事典』弘文堂。
- ◇ 齋藤純一編 『講座・福祉国家のゆくえ 5 福祉国家:社会的連帯の理由』ミネ

ルヴァ書房, 三重野卓・平岡公一編 『福祉政策の理論と実際:福祉社会学研究入門 改訂版』東信堂

- ◇ 石川准・倉本智明編著 『障害学の主張』明石書店 2002
- ◇ メイナード著榎田・岡田訳 『悪いニュースをどう伝えるか』勁草書房 2004
- ◇ コリン・バーンズ他 (杉野昭博他訳) 『ディスアビリティスタディーズ:イギリス障害学概論』明石書店

【WEB 頁】<http://www.ias.tokushima-u.ac.jp/social/>

【授業コンテンツ】<http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=219398>

【連絡先】

⇒ 榎田 (工学部キャンパス SVBL 棟 3 階プロジェクト研究室 1 に常駐。1 号館南棟 1 階 1S19 はときどき, 088-656-9512, HCB00537@nifty.ne.jp) MAIL (オフィスアワー: 火曜日 14:00-15:00 SVBL 棟 3 階プロジェクト研究室 (面談申込書あり, 榎田研ドアに掲出。))

【備考】平成 22 年度は後期の金曜日 3・4 限に開講される。